

# 全国福祉医療施設協議会 令和4年度事業報告

## 1. コロナ禍における生活困窮者支援の継続的な展開と 無料低額診療事業のあり方等に関する検討と実践

### (1) 無料低額診療事業の継続的な実施と生活困窮者への実践の展開

- 福祉医療施設の行動指針である「新型コロナウイルスの影響にともなう生活困窮者支援等への支援～福祉医療施設における実践の方向性～」(令和2年6月)をもとに、コロナ禍における現場実践の状況と課題等を踏まえながら、福祉医療施設が医療と福祉双方の専門性をもって深刻化・複雑化する生活困窮者への支援の展開を図るため、会員施設における福祉医療実践の情報共有等により、各施設での実践を促進した。
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化するなかでの無料低額診療事業の実施状況および、生活困窮者への相談支援・アウトリーチ等のソーシャルワーク実践の課題や工夫等については、「令和4年度無料低額診療事業実施状況調査」および「新型コロナウイルス感染症にかかる無料低額診療事業等への影響等に関するアンケート調査」等により情報収集を行い、結果を令和4年度「紀要」にとりまとめ、配布と会員専用ホームページに掲載することにより、会員間での共有を図った。
- 無料低額診療事業への理解促進等を図るため、会員施設の実践を本会ホームページに掲載することにより、福祉医療実践を発信した。

### (2) 福祉医療施設における関係機関等との連携・協働による事業の展開

- 今後も複雑化・多様化することが見込まれる福祉ニーズに対して、福祉医療施設が機能と役割を発揮し、地域の社会福祉法人や関係機関等と連携・協働した実践をさらに展開していくために、全国福祉医療施設大会とセミナーでの実践報告により、実践の手法や福祉医療施設が目指す方向性等を共有した。
- 会報「福祉医療ニュース」の連載コーナーのテーマを「地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践」とし、会員施設における「連携・協働」や「地域における公益的な取組」等による生活困窮支援等の実践について発信した。

### (3) 無料低額診療事業のあり方等に関する検討と厚生労働省所管課との協議等

- 令和4年度第1回協議員総会にて、各都道府県の無料低額診療事業の基準要件と運用等のあり方について協議した。基準要件等の見直しが必要である一方、地域の実情に応じた運用状況もあり慎重に対応することが必要との意見等を踏まえ、厚生労働省との情報共有と調査研究委員会での検討を進めた。
- 無料低額診療事業のあり方検討会を中心に、厚生労働省からの基準・運用の実態等に関する照会事項等への対応を図った。

## 2. 調査研究の実施

### (1) 無料低額診療事業の実施状況等の継続的な把握と福祉医療実践の推進への活用

- 無料低額診療事業のさらなる推進に向け、会員施設の実践等を把握するため「令和4年度無料低額診療事業実施状況調査」を実施し、95施設より回答を得た。また、コロナ禍における無料低額診療事業への影響等を継続的に把握すべく「新型コロナウイルス感染症にかかる無料低額診療事業等への影響等に関するアンケート調査」を実施し、86施設より回答を得た。
- これらの調査結果の分析および年度比較を行い、「紀要」に掲載して会員法人に提供した。
- 「無料低額診療事業における生活支援事例集」(令和元年度)をもとに、各調査においては、会員施設における福祉医療実践等について継続的な情報収集も行った。会員間での情報共有や社会への発信により、無料低額診療事業の理解の促進を図った。
- 各調査結果については、総務委員会と調査研究員会等において、会員施設への実践方策等の提示に係る検討とともに、無料低額診療事業に関する厚生労働省への働きかけ等において活用を進める。

### (2) 無料低額診療事業の実践に関する「紀要」の発行

- 通算13号となる令和4年度「紀要」を年度末にとりまとめた。「無料低額診療事業実施状況調査」および「新型コロナウイルス感染症にかかる無料低額診療事業等への影響等に関するアンケート調査」の結果のほか、福祉医療実践に資する寄稿「改訂 福祉医療事業関連年表」と「ホームレス・無保険患者への支援」を掲載した。

## 3. 組織強化に向けた社会福祉法人への働きかけ、連携・協働

- 総務委員会において、各地域における連携・協働の働きかけによる、今後の組織強化等の取り組みについて検討し、協議員との共有を図った。
- 全国社会福祉法人経営者協議会の会報『経営協』(12月号)に福祉医療実践と実践の見せる化をテーマとする寄稿に協力し、無料低額診療事業に関する社会福祉法人関係者の理解促進を図った。

## 4. 第32回(令和4年度)全国福祉医療施設大会の開催

- 第32回(令和4年度)全国大会は、感染防止対策と会員法人の利便性を高め参加促進を図るため、ハイブリッド形式(東京都：全社協会議室およびZoom)により開催した。

### (1) 大会概要

- テ ー マ 「福祉医療施設における今後の生活困窮者支援について  
～ウィズコロナを見据えて～」
- 日 程 令和4年11月14日(月)
- 実施方法 ハイブリッド形式(集合 および オンラインの併用)

- 会 場 全国社会福祉協議会 5階会議室
- 参 加 者 52施設96名(会場参加23名・オンライン参加44施設73名)

## (2)プログラム

### ○会長あいさつ・基調説明

「福祉医療施設をめぐる動向と全国福祉医療施設協議会の取り組み」

全国福祉医療施設協議会 会長 松川 直道

### ○行政説明

「社会福祉をめぐる諸動向と無料低額診療事業について」

厚生労働省 社会・援護局 総務課 企画法令係 係長 馬上 拓也 氏

### ○シンポジウム

「地域課題の解決に向けた福祉医療実践～複数法人や他機関との連携・協働～」

<シンポジスト>

社会福祉法人 三井記念病院

地域福祉相談室 ソーシャルワーカー 尾方 欣也 氏

社会福祉法人 日本医療伝道会 衣笠病院

相談・支援センター長 看護師 佐野 かず江 氏

社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会吹田病院

福祉医療支援課 課長 東 秀彦 氏

<コメンテーター>

同志社大学 社会学部 社会福祉学科

教授 空閑 浩人 氏

<コーディネーター>

東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター理事長

全国福祉医療施設協議会協議員 田島 誠一 氏

## 5. 第25回(令和4年度)全国福祉医療施設セミナーの実施

社会保障制度改革等の国の動向とともに、地域共生社会の実現に向けて、無料低額診療事業に取り組む福祉医療施設のあり方や役割、今後の課題等についての共通理解と実践の促進等を図ることを目的として開催した。

### (1)セミナー概要

- テ ー マ 「これからの福祉医療施設の方向性  
～令和6年診療報酬・介護報酬同時改正を見据えて～」
- 日 程 令和5年3月7日(火)
- 実施方法 オンライン(Zoomを活用)
- 参 加 者 54施設98名

## (2) プログラム

### ○講 義 「医療介護連携における福祉医療施設の役割

～介護保険制度の動向と2040年問題～

東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科 准教授 高野 龍昭 氏

### ○パネルディスカッション 「これからの福祉医療実践を考える

～地域共生社会を支える存在であるために～

#### <司会>

神奈川県医療福祉施設協同組合 理事長

全国福祉医療施設協議会 副会長 林 泰広 氏

#### <コメンテーター>

東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター 理事長

全国福祉医療施設協議会協議員 田島 誠一 氏

#### <パネリスト>

社会福祉法人 仁生社 メディカルプラザ江戸川

相談員 前田 裕生 氏

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会湘南平塚病院

医療ソーシャルワーカー 浜田 ふき代 氏

## 6. 広報・情報提供の強化

### (1) 無料低額診療事業の理解促進等

- 総務委員会において、会員施設、関係機関および地域住民等に対する福祉医療施設および無料低額診療事業の情報提供のあり方等について検討し、福祉医療ニュースの企画とホームページの更新等を進めた。
- 国の動向等については、福祉医療協ニュースやメールニュース等において、引き続き情報共有を行った。
- 会員施設が登録するメールアドレスを活用し、ホームページの更新や、全国医療協の事業推進等に関するトピックスについて情報発信を行った。

※登録施設数：146施設(会員施設：全149施設)

### (2) ホームページの充実と運営

- 総務委員会において、継続的にホームページの掲載内容等の拡充について検討を行い、年6回のホームページ更新時に併せて、全国大会とセミナーの報告、福祉医療ニュース(PDFデータ)の掲載等による情報発信を進めた。また、会員専用ページへの関連資料等の掲載を進めた。

### (3) 「福祉医療協ニュース」、メールニュースの発行

- 会報「福祉医療協ニュース」を発行し、国の政策や諸改革等の動向に関する情報を提供す

るとともに、会員施設等での取り組みを紹介し、福祉医療施設の役職員の意識啓発、情報共有を図った。

※会報送付部数は、各号につき会員施設5部（院長、事務長、看護部長、MSW等）、協議員、都道府県社会福祉協議会、福祉医療施設協議会都道府県事務局各1部を基本とした。

- ホームページの更新やお知らせ等について、メールニュースを活用し、迅速な情報発信を行った。
- 「福祉医療協ニュース」は年4回発行、メールニュースは年6回配信した。

### 「福祉医療協ニュース」発行状況

- 連載「福祉医療協の歴史とこれから」、「実践報告」、「地域共生社会の実現に向けた福祉医療実践」のほか、特集記事として以下の内容等を掲載した。
- 114号(令和4年8月25日発行)  
会員施設への情報提供を目的に国の動向として「生活困窮者自立支援制度の動向と目指す実践」を掲載した。
- 115号(令和5年1月17日発行)  
「30周年を迎えた全国医療協のこれまでの歩みと今後のあり方」と題した座談会を実施し、内容を掲載した。
- 116号(令和5年2月15日発行)  
全国大会における、シンポジウムでの会員施設による実践報告等の内容を掲載した。
- 117号(令和5年4月30日発行)  
セミナーの開催、総会の開催、MSWによる実践報告等の内容を掲載した。

## 7. 全社協関係委員会等への参加と事業協力

### (1)「政策委員会」への参加、協力

杉木 康浩 副会長が委員として参画した。

### (2)「国際社会福祉基金委員会」への参加、協力

林 泰広 副会長が委員として参画した。

### (3)「社会福祉施設協議会連絡会」「同調査研究部会」への参加、協力

「社会福祉施設協議会連絡会会長会議」は松川 直道 会長が、「同調査研究部会」は谷水 勝宏 調査研究委員長がそれぞれ参画した。

## 8. 諸会議の開催

### (1)協議員総会

○第1回5月19日(ハイブリッド開催)

①令和3年度事業報告、決算

## ○第2回3月14日(オンライン開催)

- ①令和4年度事業進捗状況、決算見込み
- ②令和5年度事業計画・予算 等

## (2) 正副会長会議、常任協議委員会(随時開催)

## ○第1回 6月13日(オンライン開催)

- ①令和4年度の事業の進め方について  
(正副会長委員長座長会議)

## ○第2回 11月14日(集合開催)

- ①令和4年度全国大会の開催について  
(正副会長会議)

## (3) 委員会等

## 【総務委員会】

## ○第1回 7月4日(オンライン開催)

- ①令和4年度 総務委員会事業について
- ②第32回(令和4年度)全国福祉医療施設大会の開催について
- ③令和4年度広報・情報提供の強化について

## ○第2回 12月21日(オンライン開催)

- ①令和4年度事業進捗状況
- ②第32回(令和4年度)全国福祉医療施設大会について
- ③第33回(令和5年度)全国福祉医療施設大会について
- ④広報・情報提供の強化に向けた取り組みについて

## ○第3回 3月6日(オンライン開催)

- ①令和4年度事業進捗状況ならびに補正予算(案)について
- ②令和5年度事業計画(案)ならびに当初予算(案)について
- ③第33回(令和5年度)全国福祉医療施設大会について

## 【調査研究委員会】

## ○第1回 7月5日(ハイブリッド開催)

- ①令和4年度 調査研究事業の進め方について
- ②令和4年度に実施する調査について(実施状況調査・新型コロナ影響調査)
- ③令和4年度「研究紀要」の発行について

## ○第2回 12月20日(ハイブリッド開催)

- ①令和4年度事業進捗状況
- ②第32回(令和4年度)全国福祉医療施設大会について
- ③令和4年度調査(実施状況調査・コロナ影響調査)実施状況の中間報告
- ④令和4年度「研究紀要」に関する中間報告
- ⑤令和4年度全国福祉医療施設セミナーの企画について

○第3回 3月13日(ハイブリッド開催)

- ①令和4年度事業進捗状況
- ②令和4年度「研究紀要」について
- ③令和4年度調査(実施状況調査・コロナ影響調査)集計結果について
- ④令和5年度事業計画(案)について

【無料低額診療事業のあり方検討会】

- 無料低額診療事業の基準要件等に関する厚生労働省からの照会事項等に対して随時対応した。調査研究委員会とあわせて課題等の検討を進めた。

## 9. 令和4年度入会・退会状況

---

- 入会施設：なし
- 退会施設：1施設
  - ・社会福祉法人 聖霊会 聖霊病院 (愛知県)

※令和5年3月末日現在、会員149施設(病院133施設、診療所16施設)